

エンテロウイルス レファレンスセンター報告

福島県衛生研究所	(北海道・東北・新潟)
神奈川県衛生研究所	(関東・甲信・静)
愛知県衛生研究所	(東海・北陸)
大阪府立公衆衛生研究所	(近畿)
愛媛県立衛生環境研究所	(中国・四国)
福岡県保健環境研究所	(九州)

エンテロウイルスレファレンスセンター業務(H26年実績)

ウイルス分与	1衛研(3種類)
抗血清分与	8衛研(39種類)
細胞分与	8衛研(RD-A:6衛研、HEp2:5衛研、L20B:1衛研)

保健医療科学院ウイルスコース実習(ポリオ担当)

ポリオ行政検査:2件

その他

感染症流行予測調査事業ポリオ感染源調査(環境水調査)、感受性調査(抗体保有率調査)取りまとめ

環境水:H26年19か所(うち事業が14か所)→H27年18か所(うち16か所が事業)

感受性:H26年8地区→H27年度8地区

平成27年4月15日健感発0415第3号結核感染症課長通知
「ポリオウイルスに関するサーベイランス等について」

エンテロウイルス内部精度管理SOP作成ワークショップ(厚生科研費宮崎班)

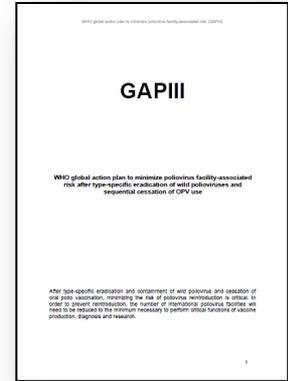
法改正にかかわるポリオ検査SOP(準備中)

会議の内容

- 2014-15シーズンのエンテロ検出状況(手足口病他、各ブロックより)
- ポリオ環境水調査による結果サマリー
- 国内ポリオウイルスワクチン株の検出について
- ポリオウイルス封じ込めについて

検査施設におけるポリオウイルス病原体管理 (WHO GAP III対応)

WHO global action plan to minimize poliovirus facility-associated risk after type-specific eradication of wild polioviruses and sequential cessation of OPV use (GAP III, December 2014)



■ポリオウイルス病原体管理の厳格化 (GAP III 基準)

- ✓血清型特異的(2型)ポリオウイルス病原体管理
- ✓世界的tOPV接種停止のための条件のひとつ
- ✓野生株、VDPVだけでなく2型ワクチン株(OPV株)も対象
- ✓ウイルス株だけでなく感染性材料も対象 (検体のリスク評価による)
- ✓保有施設(野生株、ワクチン株)に応じたバイオリスクマネジメント基準の適用
- ✓ポリオウイルス保有施設を出来るだけ減らすための具体的な活動の一環

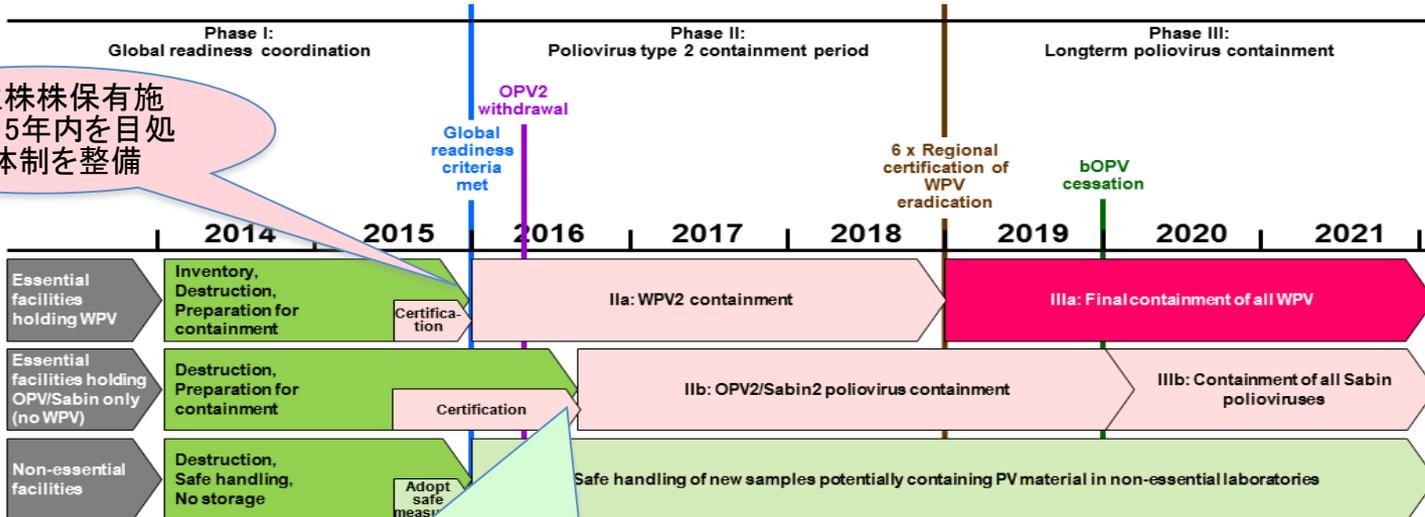


Figure 1: Containment requirements

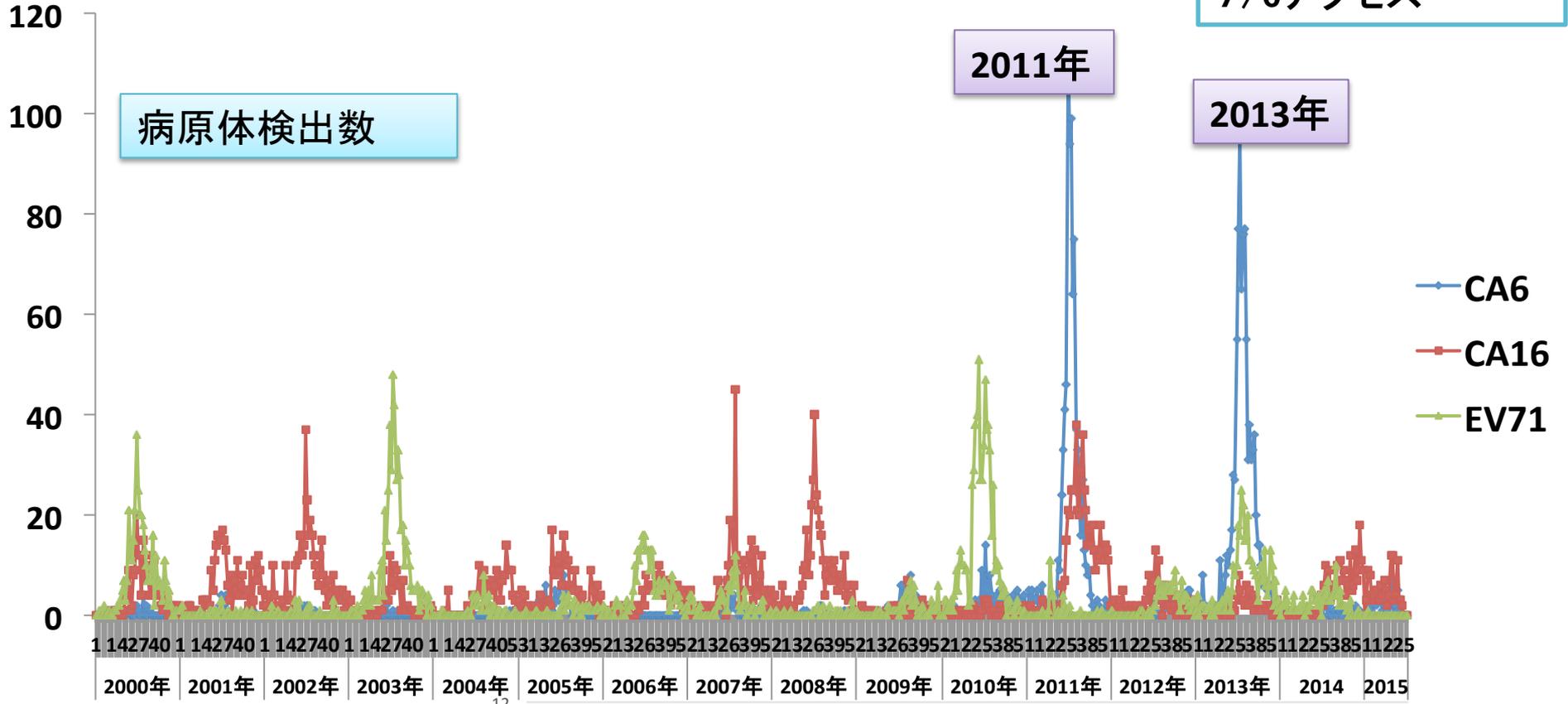
2型野生株株保有施設は2015年内を目処に管理体制を整備

2型ワクチン株(Sabin 2株)保有施設は2016年7月を目処に管理体制を整備

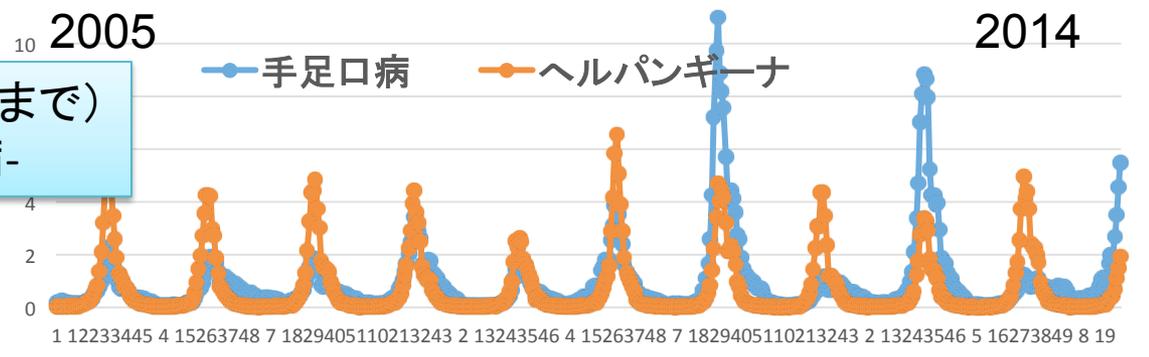
The National Regulatory Agencies for Containment in Japan
厚労省結核感染症課 ポリオ担当、清水 (感染研)

EV71,CA16,CA6の検出数(2000-2015年27週まで)

NESIDデータを加工
2015.27週まで
7/6アクセス



定点あたりの報告数(-27週まで)
-ヘルパンギーナと手足口病-

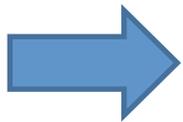


2015.07.16現在のNESID登録サマリー(エンテロのみ。2015年1月から) 年齢と血清型の分布

年齢	CA 2	CA 4	CA 6	CA 10	CA 16	EV 71	EV 68	CA 9	CB 1	CB 3	CB 4	CB 5	E 11	E 16	E 18	E 25	E 3	E 6	E 7	E 9	EV NT	報告 数
0	2	1	10	6	19		1	4		4		1	3	1	7	2	5		1		4	71
1		2	35	18	57			10	2		1	1	3		14	4	7				14	168
2	2		19	5	53			5			1		3		2	1					3	94
3		1	2	8	23			3		1	1				2		1				3	45
4			1	6	15			2		1					3	1	1			1	2	33
5			2		7			1					1		1				1		2	15
6			1	4	3	1				1			1		1		1				1	13
7					4								1		1							6
8				2	1								1								1	5
9				1	2															1	1	5
10					1										2							3
11					1								1					1				3
12													1									1
13				1																		1
19																					1	1
26															1							1
30														2								2
61															1							1
62																	1					1
不明			3																			3
total	4	4	73	51	186	1	1	25	2	7	3	2	15	3	34	9	15	2	1	2	32	472

2014年、ポリオウイルスワクチン株が異なる時期に、異なる2か所で分離されていた。

- 感染症流行予測調査事業(環境水調査)にて2014年10月1日採水分の環境水濃縮検体より3型ワクチン株が分離。翌月以降は検出なし。
- 感染症発生動向調査事業にて、感染性胃腸炎患者(11月4日検体採取)より、1型ワクチン株が分離。本例は10月海外渡航先でワクチン接種歴有り



型内鑑別を感染研で実施しワクチン株であることを確定

ポリオ患者(疑い例含む)、ウイルス検出例(ワクチン株でも)について迅速なリスク評価が必要です。

厚労省結核感染症課、感染研(疫学センター、ウイルス二部)へ照会をお願いします。